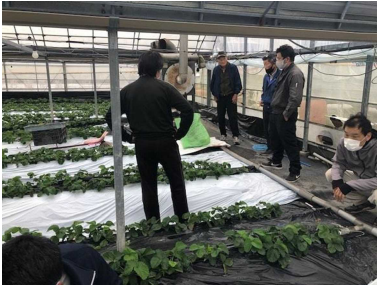


普及活動情勢報告（令和 2 年 11 月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

イチゴ出荷に向けて ～JA 介良支所苺部現地検討会および出荷反省会～



改善点は何か皆で検討

11 月 2 日、JA 高知市介良支所において、現地検討会および出荷反省会が開催されました。会には農家 8 名が参加し、普及所からは現地検討会で栽培管理、また、出荷反省会においては厳寒期栽培管理についての指導を行いました。農家からは「花が早い人との栽培管理の差が分かってよかった」「年明け後の目慣らし会でも講習をお願いしたい」等の声をいただいております、年内出荷に向け、より良い栽培管理に繋がっています。

普及所では、今後もイチゴの安定生産技術の普及推進に取り組んでいきます。

100 名以上が参加し大盛況！ ～はちきん芋栽培講習会開催～



栽培管理のポイントを
普及員が説明

11 月 9 日に、高知市農林水産課が春野町ではちきん芋講習会を開催し、生産予定者約 130 名が参加しました。

高知市長や衆議院議員、中四国農政局高知支局長にご挨拶いただいた後、山芋の仲間である「はちきん芋」を命名された雨森芍薬園の雨森氏がその特徴を説明しました。普及所は開催に向けての準備・企画段階から関わり、当日は植付準備や施肥、誘引、病虫害管理、さらに収穫法や機能性等について説明しました。

栽培管理等に関する参加者の関心は非常に高く多数の質問が出され、栽培に向け早速多くの方が種芋を購入されていました。

普及所は今後も地域振興や特産品育成に向け、有望品目の講習会開催や栽培技術指導等を継続します。

令和 3 園芸年度の栽培が始まります ～三里園芸部野菜部会～



積極的な質問がありました

11 月 12 日、JA 高知市三里園芸出荷場にて JA 高知市三里園芸部野菜部会総会が開催され、生産者 7 名が出席しました。

普及所からは、昨年春から問題となっていたショウガ褐色しみ病（新病害）の症状と、ショウガ根茎腐敗病の多犯性について説明しました。生産者からは「発生時期はいつか」、「露地ショウガでも発生するのか」などショウガ褐色しみ病について質問が集中しました。

令和 3 園芸年度から生産者が 3 戸増え、栽培面積が増加します。引き続き、産地への情報提供に努めます。

～研修生・新規就農者に向けた農業簿記基礎勉強会を開催～



勘定科目は具体例を
示しました

11月18日、JA高知県春野営農経済センターにおいて農家研修生と新規就農者を対象に農業簿記勉強会を開催しました。研修生・新規就農者、関係機関等6名の参加がありました。

農業簿記の特徴や簿記でよく使う勘定科目毎に具体的な物品例を示しながら説明しました。参加者からは「仕訳のイメージができた」、「領収書やレシートの保管について確認でき良かった」との声が寄せられました。

普及所はこれからも研修生の就農に向けたサポートや、新規就農者の経営安定に向けた支援を関係機関と共に行っていきます。

ユリの年末出荷に向けて ～長浜ユリ現地検討会～



出荷時期や今後の管理を
全員で検討

JA高知市長浜支所園芸部花卉部会は、11月19日に現地検討会を開催し、生産者10名が参加しました。年末の需要期に向けてユリの生育状況の確認や出荷時期の検討を行いました。普及所からは、今後の温度管理に関して換気に努めるよう指導し、換気時間など軟弱な生育の回避対策について、活発な意見交換が行われました。

今後も農協と連携して計画的な出荷方法を検討し、有利販売につなげていきます。